

(新規事業採択時評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他の別
国道168号	一般国道168号 五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	L=6.7km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
宇宮原 : 3,000 風屋川津 : 5,400	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	229億円	3.2億円	232億円
基準年における 現在価値 (C)	167億円	0.9億円	168億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	2.5億円	0.2億円	21億円
基準年における 現在価値 (B)	253億円	34億円	2.1億円	289億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.7203
経済的純現在価値 (事業全体)	121億円
経済的内部収益率 (事業全体)	7.4%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	宇宮原 : 3,000 風屋川津 : 5,400	±10%	1.5~2.0
事業費	229億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	10年	±20%	1.6~1.8

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	3,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	1	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	0.75	
②新設・改築道路 風屋川津工区 (5.5km)	交通量	[台/日]	5,400	5,400	
	走行時間	[分]	1	7	
	走行時間費用	[億円/年]	1.49	7.04	
③主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	5,000	0
		走行時間	[分]	27	0
		走行時間費用	[億円/年]	25.27	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (7.815.6km)	走行時間費用	[億円/年]	23,878.69	23,878.63	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,832.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	23,905.45	23,886.43	19.02

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ の推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

		項目	チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	面的に考慮	
			対象路線のみ考慮	
		採用した休日係数	( ) %	
		休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( 19 ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年の実績値より算出	
		とり止め交通を考慮する		
		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		
	冬期交通の影響	考慮しない		
		考慮する		
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定			
	その他 ( )			
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用			
	独自に設定した値を使用			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮			
	中央分離帯の有無を考慮しない			
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない			
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道168号 一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.01	6.7	0.07	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-10年目	H 25	0.9615	93.8	0.48	0.46		
-9年目	H 26	0.9246	93.8	1.43	1.32		
-8年目	H 27	0.8890	93.8	1.90	1.69		
-7年目	H 28	0.8548	93.8	3.81	3.26		
-6年目	H 29	0.8219	93.8	6.67	5.48		
-5年目	H 30	0.7903	93.8	19.05	15.05		
-4年目	H 31	0.7599	93.8	36.19	27.50		
-3年目	H 32	0.7307	93.8	45.71	33.40		
-2年目	H 33	0.7026	93.8	86.67	60.89		
-1年目	H 34	0.6756	93.8	26.67	18.02		
供用開始年次	H 35	0.6496	93.8			0.06	0.04
1年目	H 36	0.6246	93.8			0.06	0.04
2年目	H 37	0.6006	93.8			0.06	0.04
3年目	H 38	0.5775	93.8			0.06	0.04
4年目	H 39	0.5553	93.8			0.06	0.04
5年目	H 40	0.5339	93.8			0.06	0.03
6年目	H 41	0.5134	93.8			0.06	0.03
7年目	H 42	0.4936	93.8			0.06	0.03
8年目	H 43	0.4746	93.8			0.06	0.03
9年目	H 44	0.4564	93.8			0.06	0.03
10年目	H 45	0.4388	93.8			0.06	0.03
11年目	H 46	0.4220	93.8			0.06	0.03
12年目	H 47	0.4057	93.8			0.06	0.03
13年目	H 48	0.3901	93.8			0.06	0.02
14年目	H 49	0.3751	93.8			0.06	0.02
15年目	H 50	0.3607	93.8			0.06	0.02
16年目	H 51	0.3468	93.8			0.06	0.02
17年目	H 52	0.3335	93.8			0.06	0.02
18年目	H 53	0.3207	93.8			0.06	0.02
19年目	H 54	0.3083	93.8			0.06	0.02
20年目	H 55	0.2965	93.8			0.06	0.02
21年目	H 56	0.2851	93.8			0.06	0.02
22年目	H 57	0.2741	93.8			0.06	0.02
23年目	H 58	0.2636	93.8			0.06	0.02
24年目	H 59	0.2534	93.8			0.06	0.02
25年目	H 60	0.2437	93.8			0.06	0.02
26年目	H 61	0.2343	93.8			0.06	0.01
27年目	H 62	0.2253	93.8			0.06	0.01
28年目	H 63	0.2166	93.8			0.06	0.01
29年目	H 64	0.2083	93.8			0.06	0.01
30年目	H 65	0.2003	93.8			0.06	0.01
31年目	H 66	0.1926	93.8			0.06	0.01
32年目	H 67	0.1852	93.8			0.06	0.01
33年目	H 68	0.1780	93.8			0.06	0.01
34年目	H 69	0.1712	93.8			0.06	0.01
35年目	H 70	0.1646	93.8			0.06	0.01
36年目	H 71	0.1583	93.8			0.06	0.01
37年目	H 72	0.1522	93.8			0.06	0.01
38年目	H 73	0.1463	93.8			0.06	0.01
39年目	H 74	0.1407	93.8			0.06	0.01
40年目	H 75	0.1353	93.8			0.06	0.01
41年目	H 76	0.1301	93.8			0.06	0.01
42年目	H 77	0.1251	93.8			0.06	0.01
43年目	H 78	0.1203	93.8			0.06	0.01
44年目	H 79	0.1157	93.8			0.06	0.01
45年目	H 80	0.1112	93.8			0.06	0.01
46年目	H 81	0.1069	93.8			0.06	0.01
47年目	H 82	0.1028	93.8			0.06	0.01
48年目	H 83	0.0989	93.8			0.06	0.01
49年目	H 84	0.0951	93.8	-0.07	-0.01	0.06	0.01
合計				228.50	167.06	3.19	0.94
単純事業費計				228.57		3.19	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





## 別紙-1

路線名	箇所名	車線数	延長
国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原道路)	2	6.7km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (千円)	備考
①	工事費			5,256	20,578,499	
	改良費			1	272,355	
		土工	m3	7,560	25,386	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m <sup>2</sup>			
		雪崩予防柵	m			
		擁壁工	式	1	188,233	
		管渠工	m			
		函渠工	式			
		排水工	式	1	58,736	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式			
	橋梁費			264	6,109,855	
		100m以上	m	264	2,297,296	
		100m未満	m	165	1,025,578	
	トンネル費			4,990	14,129,644	
		NATM	m	4,990	14,129,644	
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			7,854	52,426	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	7,854	52,426	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費			1	14,219	
		交通管理施設工	式	1	14,219	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費			4,376	6,391	
	用地費		m <sup>2</sup>	6,391	6,391	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	6,391	6,391	
		田畑	m <sup>2</sup>			
		畑(耕地あざ)	m <sup>2</sup>			
		宅地	m <sup>2</sup>			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	3,415,000	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
③	調査設計費		式	1	1,029,000	
④	間接費		式	1	205,000	
⑤	予備費		式	1	2,181,000	
	全体事業費				24,000,000	